

～男女共同参画社会を目指して、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けて～

キラッと☆スマイル 八戸ナビ 18

固市民連携推進課☎43-9217

農業／市立島守中学校 PTA 会長 まつしとおる 松石 徹 さん

○プロフィール

妻、3人の子どもの5人家族です。農家として、主にミニトマトを生産しています。また、消防団の班長や地域の祭りの事務局も務めています。

○7年前に夫婦で就農

高校卒業後は別の仕事に就いていましたが、両親の跡を継ごうという気持ちと、子どもと接する時間を増やしたいという思いから就農を決めました。その後、就農直後の経営確立を目的とした給付金を夫婦共同申請するため、「家族経営協定」を締結。家族間で話し合い、仕事と家庭との時間のバランスをとれるよう取り決めるものですが、改めて「これから2人でやってくんだ」という宣言にもなったと思います。

○PTA会長として

特に1年目は何も分からず大変でしたが、前会長や教頭に教わりながら、何とか進めていきました。環境整備活動や広報紙の発行、行事での挨拶など役割は大きいものの、子どもたちの顔を近くで見られるのがやがいがいです。

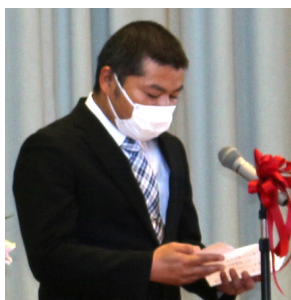
また、保護者の皆さんが協力的で助かっています。就任5年目となりますが、学校の先生も含め、人とのつながりが広がりました。

○両立のために大切なこと

仕事とそれ以外のことの計画を立て動くようにしています。部活の遠征の送迎で一日仕事ができないと事前に分かっていたら、前日までに前倒しで作業できるように計画を立てます。また、仕事や家事の役割分担を決めるため、一緒に働く妻と都度話す時間も大切です。仕事も子育ても2人だからこそ協力し合って両立できていると思います。

○今後について

子どもとも一緒に過ごす時間を大切にしており、学校卒業までは子どものことを第一に考えていきたいです。また、農業は日々勉強ですね。



PTA会長として入学式で挨拶する松石さん

新 美術館だより ⑦ 開館記念「ギフト、ギフト、」作品撮影進行中!

固市美術館☎45-8338

11月3日に開館する八戸市美術館の最初の企画は「ギフト、ギフト、」。八戸三社大祭を起点に「ギフト」の精神をみつめる展覧会・プロジェクトを開催します。

●八戸三社大祭を切り口とした多様なアート作品

八戸の美や文化を扱うことを大切にする当館ならではの企画として、「ギフト、ギフト、」では、八戸三社大祭を切り口に、写真、切り絵、陶芸、立体作品、浮世絵、映像など多種多様なアート作品を展示します。祭りの歴史を描いた切り絵、山車を想起させるような装飾的でユニークな陶芸作品、祭りや疫病の関係を考える映像作品など、作品を通じて、祭りの価値をみつめるとともに、祭りが育てている八戸の「ギフト」な関係にも着目する内容です。



木本佳子《平等院鳳凰堂/皿》2015、© KENSE [参考図版]

●撮影の様子

作品の制作は、地域の皆さんに関わっていただきながら進めています。夏には、写真家の浅田政志さんの作品撮影を行いました。祭りを支える人たちをテーマに、おにぎりを握って賄いをつくるお母さんたちや、華屋台に関わる日本舞踊の先生たち、まちなかの清掃ボランティアを行う中学生など、14場面を撮影。浅田さんの演出を受け、皆さんポーズや表情をつくりながら、楽しく撮影が進みました。



ホームページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp>
 携帯電話向けページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/m/>
 Twitter <https://twitter.com/HachinoheCity>
 Facebook <http://www.facebook.com/HachinoheCity>



ホームページ



携帯用HP



LINE



「広報」「市議会だより」が閲覧可!